住宅のカビは大気の乾燥する冬でも繁殖
湿度とカビの関係を学会で講演

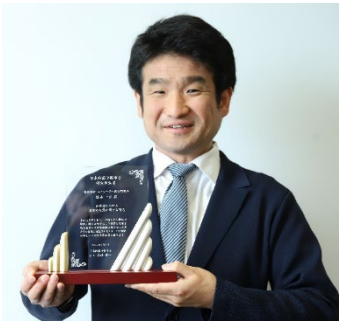
当社の環境微生物研究室の橋本一浩主任研究員は、湿度とカビの関係性について「日本微生物生態学会 第 37 回広島大会 シンポジウム」で講演を行いました。橋本は、大気の乾燥する冬場でも住宅内でカビの繁殖する原因が結露や室温の上昇といった点に着目し、住環境の微生物を調査・研究するに当たっては「湿度」を常に考慮することが重要であると説明しました。

講演では、この他に室内におけるカビ汚染を測定する方法やカビや細菌などの生きた微生物の集合である微生物叢（ソウ）が住環境に及ぼす影響などについて解説しました。

1984 年に発足した日本微生物生態学会は、微生物生態研究に直接たずさわる研究者ばかりでなく、関係諸分野の研究者も含めた幅広い交流と討議の場を提供しています。例年各地で研究者らによる発表・意見交換のための大会を開催しており、今年は 10 月 28 から 31 日までの 4 日間にわたり広島市で行いました。

橋本主任研究員は、真菌(カビ)の生態や制御方法を研究する傍ら、15 年近くに渡る一般家庭へのフィールドワークを通じ、住宅内のカビの発生要因とその対処法を実証し、多くの論文を発表してきました。そうした地道な研究活動は各種学会から高い評価を得ています。

当社の環境微生物研究室では、美術館や博物館の収蔵品のカビによる劣化の調査・分析や劣化防止のためのコンサルティング等を通じ、文化財保護活動に微力を尽くしています。今後も『生活者が安心できる未来の実現をめざす』理念のもと、引き続き公共の利益に資する研究・サービス開発に努めてまいります。



はしもとかずひろ
橋本 一浩
(株)エフシージー総合研究所　　環境微生物研究室　主任研究員

2012 年麻布大学大学院修了（博士(学術)取得)。2009 年当社入社。
専門：真菌学、環境微生物学、微生物制御学、微生物生態学、衛生動物学
主な受賞歴：
日本防菌防黴学会 2023 年度 研究奨励賞
都市有害生物管理学会 2018 年 森八郎記念賞
日本防菌防黴学会 2015 年度 論文賞